

インフルエンザ定点(小児科定点を含む)

インフルエンザ: 報告数691件(前月比0. 2、前年比0. 1)と大幅に減少しています。定点当たりの報告数の平均(定点平均)は、8. 6ですが、人吉(定点あたり18. 0)、八代(同12. 7)、菊池(同12. 3)、御船(同10. 8)は、多いようです。ほぼ全年齢からの報告があります。経緯としては、このまま収束していくものと思われます。

小児科定点

(全体傾向) 報告総数4284件(前月比0. 7、前年比0. 5)でした。減少の主な理由は、インフルエンザの大幅な減少(前月比0. 2)です。他の疾患で目立つのは百日咳の推移です。その報告が、昨年9月以来0から1件で経緯していましたが、3月に5件と増加しています。

(疾患別傾向)

1. RSウイルス感染症: 報告は124件(前月比0. 6、前年比2. 0)で、例年同様に減少傾向にあります。定点平均は、2. 5ですが、水俣が定点あたり7. 5と多く、人吉でも4. 3と多く発生しているようです。報告の多くは2歳以下からで、阿蘇を除き全県下から報告があります。
2. 咽頭結膜熱: 報告は45件(前月比0. 7、前年比0. 5)です。年間を通じての報告となっています。定点平均は0. 9で、菊池(定点あたり3. 8)、宇城(同2. 0)、水俣(同1. 5)にやや多い傾向があります。1歳をピークとし、0歳から2歳の年齢分布です。
3. A群溶連菌咽頭炎: 報告数297件(前月比0. 9、前年比0. 8)と、9月から増加に転じ12月にピークを持ちましたが、その後漸減してきています。定点平均は5. 9です。菊池(定点あたり13. 4)と人吉(同11. 3)の二地点が特に多いようです。山鹿、御船からの報告はありませんが、他地域からの報告も多く、地域差があります。4~5歳をピークとして幅広く発生しています。例年初夏に向けて増加していきますので、注意が必要でしょう。
4. 感染性胃腸炎: 報告数2281件(前月比1. 2、前年比0. 8)と例年よりやや少な目ですが、ほぼ同様の推移です。定点平均は、45. 6です。菊池(定点あたり90. 4)、山鹿(同90. 0)、有明(同78. 0)、八代(同64. 5)に多いようです。また全県下から二桁ないし三桁の報告があります。年齢では1歳をピークとし幅広い分布です。各年齢層から三桁の報告があります。
5. 水痘: 報告数139件(前月比1. 3、前年比0. 8)と、一昨年からの漸減傾向が続いています。定点平均は、2. 8です。水俣(定点あたり11. 5)、山鹿(同10. 0)、を除けば、定点当たりの報告数は一桁です。阿蘇、御船を除いて全県下から報告があります。
6. 手足口病: 報告数225件(前月比1. 4、前年比1. 1)と、例年よりやや多めの推移です。定点平均は、4. 5です。宇城の59件(定点あたり14. 8)と菊池の42件(同8. 4)で報告の半数を占めています。1から2歳を中心とする年齢分布です。
7. 伝染性紅斑: 報告数13件(前月比0. 9、前年比1. 4)と、ここ数年の少ない報告数が続いています。天草からの報告が4件(定点あたり1. 0)です。
8. 突発性発疹症: 報告数135件(前月比1. 0、前年比1. 1)と、例年並みの動きです。定点平均は、2. 7です。菊池と人吉(定点あたり5. 0)に多いようです。阿蘇・御船の二地区を除く県下から報告があります。

9. 百日咳: 5件の報告がありました、報告数が2以上になったのは、昨年9月以来です。全て人吉からの報告です。年齢も全て1歳です。
10. ヘルパンギーナ: 報告数29件(前月比2. 1、前年比0. 7)と先月からは増加していますが、例年同様の低い水準です。定点平均は0. 6ですが、天草 から13件(定点当たり3. 3)の報告があります。
11. 流行性耳下腺炎: 報告数98件(前月比1. 6、前年比3. 3)と昨年秋以降の増加傾向から、今年に入り急増しています。定点平均は2. 0ですが、人吉71件(定点当たり23. 7)が目立ちます。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎: 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎 : 報告数54件(前月比2. 6、前年同月0. 7)と先月よりも増加していますが、その後の発症状況から流行にはつながらないと予想されます。
地域別では熊本53件、菊池1件の報告で、年齢別では20～49歳に多発しています。

STD定点

1. 性器クラミジア感染症: 報告数 54件(前月比 1. 3、前年比 1. 3)で、前月比、前年比共に増加しています。男女別は、男性14件、女性40件で、女性に多く見られます。年齢別は、男性は15～59歳に見られ、女性は10～39歳に見られます。地域別は、熊本が30件、次いで八代11件、御船4件、宇城3件、菊池、人吉、有明各2件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症:
報告数 12件(前月比 1. 2、前年比 0. 8)で、前月比は増加し、前年比は減少しています。男女別は、男性2件、女性10件でした。年齢別は、男性は30～39歳に見られ、女性は20～70歳以上と幅広い年齢に見られます。地域別は、熊本が4件、次いで菊池、八代各3件、御船、有明各1件でした。
3. 尖圭コンジローマ : 報告数 2件(前月比0. 3、前年比0. 5)で、前月比、前年比共に減少しています。男女別は、男性0件、女性2件で、年齢別は25～49歳に見られます。地域別は、熊本、菊池各1件でした。
4. 淋菌感染症: 報告数22件(前月比1. 0、前年比 1. 0)で、前月比、前年比共に同数でした。男女別は、男性18件、女性4件で、男性に多く見られます。年齢別は、男性は15～59歳に見られ、女性は20～29歳に見られます。地域別は、熊本が14件、次いで宇城4件、八代2件、菊池、人吉各1件でした。

基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症:
15件(前月比0. 5、前年比0. 8)の報告がありました。
熊本9件、山鹿2件、阿蘇1件、八代2件、人吉、阿蘇各1件でした。
年齢は0歳: 1件、35～39歳: 1件、40～44歳: 1件、50～54歳: 2件、55～59歳: 1件、70歳以上: 9件でした。

2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症:

8件(前月比1.0、前年比1.0)の報告がありました。
熊本5件、八代2件、有明1件でした。
年齢は1~4歳:1件、10~14歳:1件、65~69歳:2件、70歳以上:4件でした。

3. 薬剤耐性緑膿菌感染症:

報告ありませんでした。(前月比 -、前年比 -)

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎:

2件(前月比1、前年比1)の報告がありました。
熊本2件で、年齢は70歳以上:2件でした。

2. 無菌性髄膜炎:

2件(前月比2.0、前年比0.7)の報告がありました。
熊本2件で、年齢は15~19歳:1件、35~39歳:1件でした。

3. マイコプラズマ肺炎:報告ありませんでした。(前月比 -、前年比 -)

4. クラミジア肺炎:

報告ありませんでした。(前月比 -、前年比 -)

5. 感染性胃腸炎:

31件(前月比3.4、前年比1.2)の報告がありました。

(ロタウイルス)

熊本24件、人吉4件、有明3件で、年齢は0歳:29件、1歳:2件でした。

届け出対象感染症

1類感染症:

報告はありませんでした。

2類感染症:

結核:24件

3類感染症:

腸管出血性大腸菌感染症:1件

4類感染症:

レジオネラ症:1件

5類感染症:

アメーバ赤痢:1件

カルバペネム耐性腸内細菌感染症:1件

侵襲性肺炎球菌感染症:1件

侵襲性インフルエンザ菌感染症:1件